

PSの主な検討経過

■平成16年度よりPSの作成に着手。

↓

■平成17年9月、PSの原型（5領域と一般目標のみ）を、日薬会長宛て、委員長名で答申。

↓

■平成18年12月、「日薬における生涯学習推進についての建議」を、日薬会長宛て委員長名で提出。

↓（PSについてさらに検討。到達目標を作成。）

■平成19年10月7日、日薬学術大会（兵庫大会）生涯学習シンポジウムにて、PSについて発表。

↓

■平成19年10月27・28日に、共立薬科大学（現・慶應義塾大学薬学部共立校舎）にて、「平成19年度全国薬局・病院薬剤師生涯学習担当者連絡会議～生涯学習担当者ワークショップ」（日薬・日病薬共催）を、日薬、日病薬の各都道府県担当者、計94名を招集して開催。PSのブラッシュアップを目的に、ワークショップ形式で問題点を議論。

↓（ワークショップの議論をもとに、PSを更新。20年度版を作成。）

■平成20年10月13日、日薬学術大会（宮崎大会）生涯学習シンポジウムにて、PSおよびクリニカルラダー（CL）を利用した生涯学習制度について発表。

↓

■前年度同様、平成20年11月15日、「平成20年度全国薬局・病院薬剤師生涯学習担当者連絡会議～生涯学習担当者ワークショップ」を開催。主にCLにおける評価の尺度、評価者等について、ワークショップ形式で議論。

↓（「20年度版PS」の難易度等を再確認、一部更新により完成。）

■平成21年3月、「『薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード』を活用した新たな生涯学習制度構築について（提言）」を、日薬会長宛て、委員長名で提出。

↓

■平成24年3月、JPALSのシステム構築に伴い、各PSにクリニカルラダー（Clinical Ladder：CL）を設定するとともに、PSの項目を2つ追加し、5領域、全383項目を「平成23年度版」として公表。

↓

■令和4年10月、「令和4年度版」を公表。5領域はそのままに、到達目標は398項目で、これまで領域2「医薬品の適正使用」のみに設定していた「小領域」を全領域に設定。